

双方向型高性能分岐器・分配器 10~770(1000)MHz

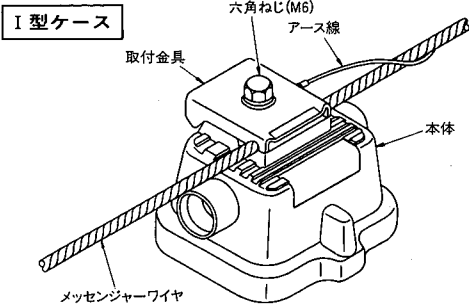
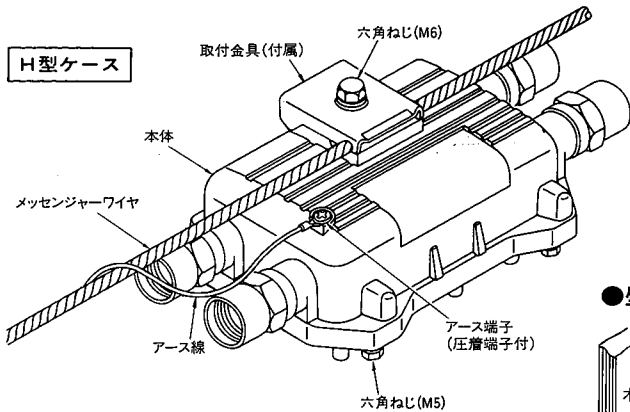
●この度は、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

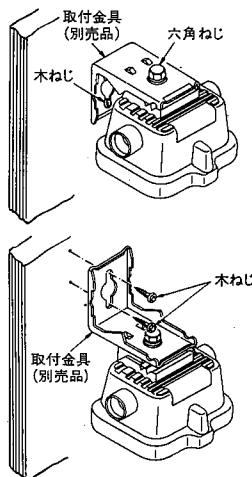
1. 本器は小型軽量の防水アルミハウジングケースを使用しています。
2. 本器は漏洩に対して優れた遮蔽性能を有しております。
3. 機構的にも堅牢で耐候性に優れており、特に寒冷地や海岸地区で起る氷結、腐食などに対しても長期の使用に耐え得るよう充分に考慮されています。
4. 全端子フィッティング型の1分岐器、2分岐器及び2分配器は全端子電流通過型となっております。
電流通過を必要としない場合は、指定の電通カットリードを切断することにより、電通カットすることができます。
5. 本器は幹線ケーブルに取り付いた状態で、シャーシ本体を取り外すことができます。

■取付方法

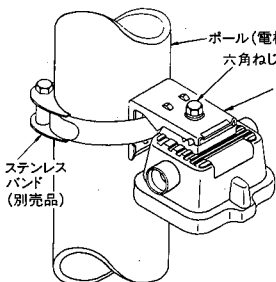
●メッセンジャーワイヤへの取付およびアースの取り方



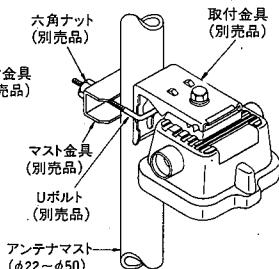
●壁面への取付方法



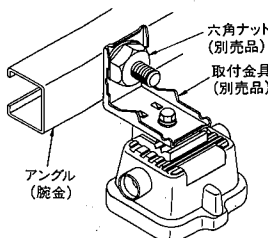
●ステンレスバンドによる取付方法



●マストへの取付方法

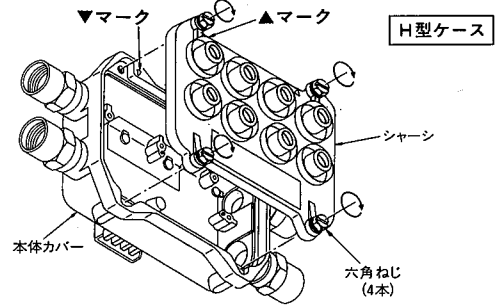


●腕金への取付方法



●シャーシの取りはずし方

シャーシ側の六角ねじ4本をゆるめシャーシを水平に引き抜くことにより簡単に取りはずすことができます。再度取り付けるときは▼マークを合わせ、シャーシが傾かないように注意して取り付けてください。



●電流通過のカット方法

(全端子フィッティング型の1,2分岐器および2分配器)

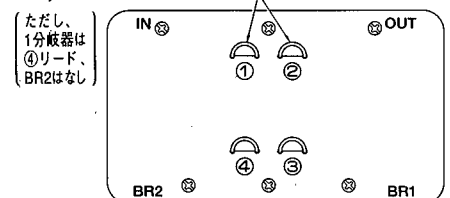
電流通過を必要としない端子はそれぞれの端子の①~④の電通カットリードを切断してください。また、電通カットした端子は本体下側に表示している銘板の [7.5A] を刃物等で削除しておくことをおすすめします。

注意

電通カットリードを切断する場合リードの根もとの2ヶ所を確実に切断してください。切断された電通カットリードは復元されませんので、よく確認してから切断してください。



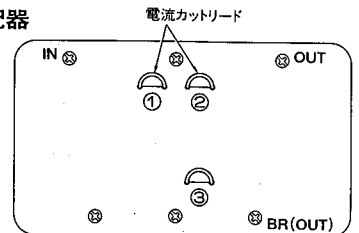
●1,2分岐器



●電流通過端子と電通カットリードの切断例

電流通過端子	電通カットリードの切断箇所
IN ⇔ OUT	③, ④
IN ⇔ OUT ⇔ BR1	④
IN ⇔ BR1 ⇔ BR2	②
OUT ⇔ BR1	①, ④
BR1 ⇔ BR2	①, ②

●2分配器



●電流通過端子と電通カットリードの切断例

電流通過端子	電通カットリードの切断箇所
IN ⇔ OUT	③
IN ⇔ BR (OUT)	②
OUT ⇔ BR (OUT)	①

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

絵表示について：この「安全上のご注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
		⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

- 本器を設置する場合は、本器をしっかりと固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 定格の電源電圧、電流を越えて使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 本器内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。



警告

- 電流通過カットの改造をする場合は、電源装置のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。
- 電流通過以外は、本器を改造しないでください。また、本器の他の内部は触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



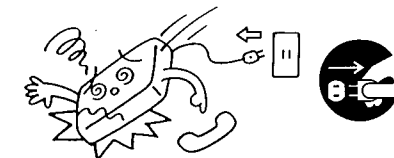
- 電流通過カットの改造後は、ケース蓋をしっかりとボルト締め(4箇所)してください。内部にゴミや水などが入り、火災・感電の原因となります。



- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

- 接続・保守・点検の際は安全のため電源装置の電源プラグを抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



